

Japan Region



変化の認識とすばらしき対応

RECOGNITION OF CHANGES AND SUPERB RESPONSES

Vol. 12, No. 3, April 1994

ITC日本リージョン声明文

ITC日本リージョンは、世界的変革の時代にあたって、ITCの目標を初心にかえて研修し、あらゆる変化に対応し得る能力と、しなやかな行動力を培う努力によって、公正且つ楽しい空間を提供する。

1993. 8. 30

ITC日本リージョン役員会採択

ITC Japan Region Mission Statement

ITC Japan Region offers a fair and pleasant space to re-study the original purpose of ITC goals and to cultivate our abilities and flexible acting power to cope with any changes in the century of a worldwide changes.

目 次 *Table of Contents* *Vol.12/No.3.April.1994*

日本リージョン会長メッセージ	Message from Japan Region President	1
アクションプラン	Plan of Action	2
リージョンニュース	Region News	3
資格認証委員会	Accreditation Committee	4
選挙委員会	Election Committee	4
スピーチコンテスト委員会	Speech Contest Committee	5
ITC基金委員会	ITC Endowment Committee	5
ITCマルチメディアディベロプメント委員会	ITC Multi-Media Development Committee	6
会則と常規のQ & A	Bylaws & Standing Rules Q & A	6
事務局通信	From Japan Region Office	7
ITC国際大会案内	Information of ITC Convention	8
朗読研修 -その後-	Oral Reading Training-Past and Present	9
第2回カウンスル例会に参加して	Enjoying the Council Meeting	10
チャーター式典	Charter Ceremony	12
お知らせ	Notice	12
第12回日本リージョン年次大会案内	Japan Region 12th Annual Conference	13
リージョン運営研修会、カウンスル運営研修会	RMT・CMT	13
大会プログラム	Region Conference Program	14
プログラム・教育委員会	Program-Education Committee	15
リージョン派遣員への注意事項	Notice to Delegates to Region	15
大会準備委員会より	From Region Conference Committee	16
リージョンサロン	Region Saloon	18



一 歩 手 前

日本リージョン会長 伊庭文子

若葉は雨に潤い、光を受けて力を得、風によって爽やかに動く。窓の外は自然は、この会誌を手にもされる頃、初夏を迎えている事でしょう。ITCの研修体験は、胸突き八丁、峠の頂上が見えていながら一番しんどい時期です。世界情勢の変動でもよし、大自然の移ろいでもいいから気持ちを一寸でもそちらの方に移してみるの如何でしょうか。そんな時、『もっと苦しい事がある。もっと楽しい事もあるのだ。』と感じるのではないのでしょうか。家族や友達をはじめとして諸々の味方が、周囲にあるはず。さあ気分を新たにして残り三分の一のチェックポイントを通り過ぎましょう。カウンスル会長第3回報告をまとめました。世界第一の会員数1783名(2月1日現在)、プログラムの多様、興味、充実、『社会性』の内部外部での高まりと実践は、プログラムとPREM活動の成果であります。この胎動の相乗効果を大きい流れと致したいものです。安穏な入江の中から大海へ出る準備は、12年になったリージョンとしては当然の段階と存じます。賢明な好奇心豊かな皆様は、新分野への挑戦にはその裏面にためらいと謙虚さが共存するのを感じられる事でしょう。しかし、リージョン第二次活動期へのセルモーターを勇気をもってまわしてください。変革も行動によって前進となるのです。国際会長は事あるごとに『活動計画』を指示されます。どの方向に進むのか、目標の明確化は組織運営の一大ポイントです。これに準じて教育も修正も、また研修そのものもより高度なものへと移行していくものと存じます。国際会長と親しく交流出来ますリージョン大会ご訪問の日を、大きな思いを込めてお待ちする今日この頃でございます。

Region President's Article for Region Newsletter

New leaves refreshed with rain,
Strength received from the sun,
Breezes flow to and fro,
From the window, Nature's beauty.

When this report reaches you, it will be early summer. We are 80% of the way up to the top of this term of ITC training experience; contemplating the summit ahead is exhausting. Perhaps one can rest for a moment and turn one's thoughts in other directions. Contemplating the changing world situation, or the decline in Mother Nature, we should think how fortunate we are to live in pleasant surroundings! At such times is it not better to think "There may be more difficult times ahead, but also more enjoyable times"? Family and friends are there to encourage and assist us. So now let us start again, pass the remaining check point and complete remaining term ahead.

The 3rd Council President's reports have been completed. As of February 1st, with 1783 members, Japan Region has the highest membership in the world. The Program and PREM activities, in introducing interesting, varied and satisfying programs, have successfully resulted in the reputation of ITC being enhanced, both internally and in society at large. I hope that the flowing strength of this great organization can be sustained.

Region, which for 12 years has been sheltering in a peaceful inlet preparing to sail out into the wide ocean, naturally has to take the big step. All our members have intelligent and inquiring minds and look forward to the challenge of starting out on a new venture, but at the same time feel doubts and reservations. However, let's take courage, start our motors, and tackle the second half of Region activities. Advancement comes from transition and action.

The International President frequently mentions the need to develop Plans of Action. A very important point for this organization to decide is its aims and the exact direction in which it wants to move. Following this, I believe that we will benefit from higher quality education, revision and training. The International President's visit to the Region is one of the important events I am awaiting anxiously with hope and happy thoughts.

Japan Region President
Fumiko Iba

“ PLAN OF ACTION ”

Statement of Goal	目標の設定
Steps to Accomplish	達成する段階 どのようにして
Who	誰が行うか
Resources	どこへ（報告する相手）または、事を運ぶに当たったの資料、情報、調査（マーケットリサーチのようなもの）
Target Date	目標日時、左の項目を何時までにする

行動計画（ACTION PLAN）とは：

リージョンの各役職はアクションプランを立て、カOUNSルに〜をゴールとしたいというアクションプランを呈示すると、カOUNSルはそれによるアクションプランを立てる。

クラブ 委員会等はより具体的なプランとなる。

組織として活動するための目標、ガイドラインを作成する。1つの目標を達成するには、どういう行動が考えられ、誰によって、何時達成するか。

この様な形で1つずつの行動計画を達成していく場合もあれば、他のプランと同時進行させる場合もあり、要点は同じで最終的にとりまとめてアクションとなり、それによってまた新しい行動計画となることもある。

Steps to Accomplish いくつかの段階に分けて記す。

- ・その目標達成の複雑さ、目標の性格、リーダーの考えによってステップの多少が決まる。
- ・この欄に書ききれないほどの大きな目標は、行動計画として不適格である。
- ・ポイントをはっきりさせ、ページに収まる簡潔なものでなくてはならない。説明ではなく要点のみを記す。
- ・ゴールを決めることによって、段階がはっきりと順を追って理解され達成される。

1. 目標を立てる。

2. 実際のアクションプランの作成。

各部署に対する具体的な行動計画事項。

* 全体を見直し、担当者を再教育するためにサポートする。

* 全ての結果に対して、プランの見直し、長期計画の修正、もしくは現状維持かを出す。

○情報収集→行動計画の立案→リーダートレーニング→持寄り討論（CMT 2）

行動計画を用いるにあたって：

年度始めには（リージョン大会の時すでに）その年度、及び次年度までの計画を立てておくことが望ましい。長期計画においても同じ事がいえる。

〔候補者である段階で既にプランを計画し、練り上げ、投票が終わった時点（就任以前の）で下部レベルの役員会、委員会に伝え、年度発足時には具体的な計画が出来上がっているようにする〕達成したかどうかはこのプランを見ることによって具体的に引き継がれることができる。達成しなかった件については、次期が引き継ぐ。見直しの結果それが修正、変更されても良い。短期目標が長期目標となる場合また逆の場合もあり得る。

プランは、予算、場所、備品、指導者など下記の4つの項目でよい。細かく分類したり、詳しくすると不明瞭になる。

	1. 行動計画	2. 誰が担当する	3. どの様に行う	4. 何時までに
例-I	予算の作成	会員A子	(どこに) 提出	○月○日
	場所設定	会員B子	(誰に) 報告	○月○日
	セミナー指導者	会員C子	アレンジし報告	○月○日

1つずつ1枚のアクションプランを作成する。

例-II 予算の決定 会員A子がアクションプランを立てる。

会場見積り	会員Z子	調査し一覧提出	○月○日
備品	会員Y子	調査し一覧提出	○月○日
講師謝礼	会員X子	調査検討資料提出	○月○日

予算の作成においては、更新、調整、見積り、必要経費の調査、人数締切りなどを活動の項目としてとり上げる。具体的な人数、金額は記さない。細部は議事録または記録に記載される。

行動計画の自己評価：

実際の場合では、非常に具体的なものができる。(例. 予算には予算に関係した経理の全てを含む)しかし、必ず1ページにし、4つのコラムでできるようにする。

これに沿って活動し、日程通りに終了すれば良いし、できなければ何等かの修正を加え、次の段階に進む。

やり方は全てのレベルで同じである。自分が与えられた目標を上において、それを達成するには、どのような段階で誰が担当し、どの様にして、何時までに何をするか。書くだけでなく実際に行う。こうすることによって、組織として行動するということになる。ゴールを旨く的確に定めて表現することが、上部レベルに課せられる。

あまり複雑であると計画倒れとなる。成し得ることのみを計画することにより具体性があり次への発展に繋がる。

※ アクションプランについて質問があればリージョン役員会にお問い合わせください。

笹本 晃子(準会員) 監修

リージョンニュース

- 1) 日本リージョンでは、教育基金の用途について検討する『教育基金研究特別委員会』を設け、委員として盛田純子 須知繁子 三宮晶子 マキシム・バスカム 置塩啓子の5名の皆様を任命いたしました。
- 2) 教育促進委員会活動方針について見直しをしています。
- 3) クラブ会員の慶弔に関しては、必ずリージョンへ届け出てください。

届け出先：リージョン書記

資格認証委員会 Accreditation Committee

現状に即した方向へ

委員長 須知 繁子

ITC Communicator 11・12月号誌に、ジョアン・グロス資格認証委員長によって新しく改正された資格認証課程についての記事が載っております。その日本語訳文はリージョン会報第3号別冊コミュニケーターNo.3に出しております。

これを読みますと、改正の理由や、このプログラムがより現実に即した方向を目指していることが理解できます。そしてマスターマニュアルを基としての訓練をITCの内外で実践すること、それらが広く認証の対象となるとの考えであるように思います。

改正に伴って生じる疑問等については、グロス委員長自身も、ITCの委員会としてその反響を知りたいので質問の手紙を書いてほしいと云っておられます。リージョン委員会としても会員からの質問をまとめてITC委員長へ送り、そのQ&Aを次のリージョン会報に紙面が許されるならば載せたいと考えています。しかし急ぐ場合は各レベルから直接ITC委員長へお尋ねになるのもよいと思います。その時は、他の会員たちと知識を分かちあう意味で内容をリージョン委員会へ知らせていただきたいと思います。

すでにお知らせ致しましたように、新しいAccreditation Program日本語版が出来上がりました。購入希望者は資料委員会へ申し込んでください。

選挙委員会 Election Committee

選挙の心がまえ

委員長 六車紀代子

★ 選挙の意義

選挙は私達の権利です。

私達一人一人の力は大了ものでないと思っても、実は、この一人一人の発言や行動が世論をつくり、一票一票を積みあげるのです。

★ 選挙委員会の任務

- a. 役員と指名委員の選挙を担当する
- b. 投票用紙を準備する
- c. 郵便による投票の場合は選挙委員会が投票用紙をまとめ、15日以内にリージョン会長に結果を報告し、各所属クラブに公表する（1993年版・日本リージョン会則より）

★ お願いと注意事項

- ①日本リージョン会則第5条E項をよく読んでご出席ください。
リージョン派遣員の皆様はどうかクラブの代表者としての自覚のもと、お静かに且つスムーズにご協力願います。
- ②年次大会においては、次期役員及び指名委員3名の選挙を行います。
- ③派遣員は、必ず昼食券をご持参の上集合してください。

- ★ 投票は、大会第1日目の昼食時間に3階「有明の間」で行われます。

スピーチコンテスト委員会

Speech Contest Committee

スピーチの花束

委員長 市川 道子

春爛漫、花いっぱい季節です。唯今各カウンスルでは次々とスピーチコンテストが開催され、リージョンへの代表が決まりつつあります。今年6月2日の英語の部に5名、6月3日の日本語の部に8名のコンテストが参加される予定です。

私共委員会は、2月に第1回の会合を持ち大会ハイライトの1つであるコンテストをぜひ成功させたいと智恵をしばっております。委員の協力により、外部からの審査員もそれぞれの分野で経験豊かな、そしてITCに理解のある方に依頼することが出来ました。バラエティに富んだ論題を考えると共に、プログラムリーダーはじめタイマー、テラー等出来るだけ多くのクラブに依頼して、1人でも多くの会員に支えられたコンテストにしたいと考えています。聴衆の多さもコンテストの励みになります。皆様出来るだけ出席なさって、「スピーチの花束」に輝きをそえてくださいませ。

又、今年度で現在の規則によるコンテストは終わります。現在の規則に不備な点や改善を希望する点等のお考えをお持ちの方は、私までお申し出ください。この機会に本部へお伝えしたいと思っております。

ITC 基金 委員会

ITC Endowment Committee

私達は

ITCに何が出来るでしょうか

委員長 常田 道子

ITC会長スザンヌ・シフレットは、「ITC基金は、さゝやかでもITCにお返ししようという気持を表すものです。ITC創立55周年に当たり、誕生を祝し、末長い成長と繁栄を願って、ITC基金に多大のご寄付をおよせください」といわれました。

会員の皆様には、既に一人\$5.00見当の任意のご協力をお願いしております。その他、方法は一つだけではありません。種々な形の中からお選び頂くことができます。

- 55周年記念お祝（用紙はクラブ会長にお尋ねください）
\$55.00
\$36.50
\$18.25
- インナーサークル \$100.00
- 点火のピン \$25.00
- ITC基金くじ（1996年1月抽選、寄付金総額の10%が当たる。スコットランド大会へ行きましょう）
1枚 \$2.00
3枚 \$5.00

各カウンスル第3回例会で、クラブ、個人を問わず、ITC基金委員が受け付けます。それ以外の場合でも、何時でもお申し出ください。リージョン大会でも、基金のテーブルへお気軽にお申し付けください。

※抽選券は、ITC基金委員へお尋ねください。

ITCマルチメディアディベロプメント委員会

ITC Multi-Media Development Committee

“只今 ビデオテープ製作中です”

委員 福本 弘子

ITC マルティメディアディベロプメント委員会は12名で構成されています。ITCコミュニケイター5・6月号に詳細が掲載される予定ですが、只今 下記のようなビデオテープを製作中です。

目的 ITCの組織と訓練を広く世界に知らせる

内容 ITCの訓練は「あなたの成功」の手助けとなることを強調し、ITCのオリエンテーションに使えるもので長さは15分位

対象 会員となる見込みのある個人や団体（会社 協会など）

期限 1994年 ITC世界大会にて公開

さらに、ビデオテープに付随して、具体的なITCの説明となる小冊子を作成しています。アメリカ6名、カナダ オーストラリア各2名、南アフリカ 日本から各1名の委員がシナリオ 編集 ビデオ撮り そして小冊子作成と、それぞれの分担で現在進行中です。（当委員会は、国際レベルにのみ設置されている特別委員会です。 編集部註）

会則と常規の Q & A

リージョン議会議長 高柳 恭子

Q ITC大会で修正された会則・常規は、各レベルの会則において、どのように変更されるのですか。

A ITC大会で修正された会則・常規は、各レベルの会則、ITC会則の第13条リージョン、第14条カウンシル、第15条クラブに関連したものであれば、自動的に修正されることとなります。会合での採決は必要としません。それ以外の部分については自動修正にはなりませんので、リージョン、各カウンシル、各クラブで採否を検討し（採否は自由）必要であれば会則修正の手続きをとった上、修正します。毎年ITC大会で修正された会則、常規は、各クラブ宛リージョンメールや、会員に配布されるリージョン会報で変更が通知されますので、自動修正のものは各自が修正します。またはクラブ例会で、会則決議委員長か議会議長が報告をして各自修正します。

Q 各レベルの標準会則とオリジナル会則とは、どう違うのですか。

A 1. 標準会則とはITC本部が各レベルのためにサンプルとなる標準的な会則の例を示したもので、リージョン、カウンシル、クラブで採択しない限り、正式な会則としての効力をもつものではありません。

2. オリジナル会則とは、各レベルの会則に矛盾せず必須条項を必ず含んだ上で、独自のものを採択して採用するものです。

〔付記〕ITC会則第13条リージョン、第14条カウンシル、第15条クラブ 各B項 会則

リージョン、カウンシル、クラブは、ITC会則に矛盾しない会則を採択し、それによって運営する。ITC会則が修正され、それに対応して各レベルの会則の修正が必要な場合、あるいはITC会則と矛盾が生じた場合は、各レベルの会則は、ITC大会の投票により採択された修正にしたがって、自動的に修正されるものとする。

資料委員長 森 尉 江

今期は新版9種類、改訂版1種類、1993年度版会則6種類、再版2種類の計18種類が出版され、それらを販売しております。翻訳委員会、出版委員会の方々に心よりお礼申し上げます。

今期の新版および改訂版をご紹介します。

新 版

- C 64 「創設者の月」プログラム 「創設者の月」とは何か？目的は？
プログラムの組み方など具体的に示されています。
- C 65 マーケティングとは …… ITCの広報活動に今までにない視野を広げる事ができると思います。
みんなの責任

以上の2種類は、今期初めて外部に翻訳、印刷を委託した資料です。

- C 66-A 想像力を使いましょう C66シリーズは多色使いのイラスト入り手引書で、ITCのノウハウが楽しくわかりやすく解説されており、サイズはA5判で持ち運びに便利です。このシリーズをぜひお手元にお揃えください。
- C 66-B 指導力を向上させる方法
- C 66-C 優れたパブリックスピーカー
になろう
- C 66-F 会合を成功させる方法
- C 66-I 議事運営手順の a-b-c
- C 66-J 決断力を向上させる方法
- C 67 基本的な評価訓練 初心者の方もベテランの方も、もう一度評価について考えてみましょう。

改 訂 版

- B 1 資格認証課程 本年度、ITC本部の資格認証プログラムが改訂されましたので、資格認証委員会で翻訳していただいたものです。各レベルの資格認証委員長は、日英両版をお買い求めになるようにおすすめ致します。

ピッツバーグに一緒にしませんか!

国際交流委員長 羽尾 則子

1994年度ITCコンベンションは、アメリカ合衆国ペンシルバニア州ピッツバーグで7月16日(土)～20日(水)に開催されます。シフレット国際会長やブライアント事務局長はコミュニケーター11・12月号、1・2月号でピッツバーグを以下のように紹介しておられます。1世紀以上も鉄鋼の街として知られていたピッツバーグは、今や教育、文化、化学技術を世界に誇り得る街として全米で最も住みたい街の1つに挙げられています。ケーブル鉄道で頂上に登れるマウントワシントンと3本の河に囲まれ、全米有数のショッピングセンターや美しい数々の公園、美術館、動物園を擁する魅力一杯の街に生まれ変わっています。

国際交流委員会は、今回はITCコンベンションツアー（コミュニケーター1・2月号）に世界のITCのお仲間と共に参加するのも如何かと計画致しました。リージョンメールでお知らせしましたように、コンベンション前後のツアーに合わせて旅程を組んでみましたのでご希望の方はお申し込みください。なお下記にコンベンションのプログラム（コミュニケーター1・2月号）を参考までにお知らせしておきます。

FRIDAY July 15	SATURDAY July 16	SUNDAY July 17	MONDAY July 18	TUESDAY July 19	WEDNESDAY July 20
Tours 9:00 am-5:00 pm	Registration 8:30 am-7:00 pm	Registration 8:00 am-1:30 pm	Registration 7:00 am-8:00 am	Registration 7:30 am-8:15 am	DVP/Region Board Meeting 7:00 am-8:00 am
Registration 5:00 pm-9:00 pm	Tours 9:00 am-5:00 pm	Worship Service 8:00 am-8:45 am	Elections 7:00 am-8:15 am	Business Meeting 8:30 am-10:45 am	ITC Sales 7:00 am-8:15 am
	RMT - II 9:30 am-11:30 am	RMT - II 8:00 am-10:00 am	ITC Sales 7:30 am-8:30 am	Lunch (Honoring Region Presidents) 11:00 am-1:00 pm	Business Meeting 8:30 am-10:00 am
	ITC Sales 10:00 am-5:00 pm	Tours 9:00 am-1:00 pm	Business Meeting 8:30 am-10:30 am	General Session 1:30 pm-3:15 pm	Training Sessions 10:30 am-12 noon
	Program Leader's Workshop 10:00 am-11:00 am	General Session 9:15 am-10:30 am	General Training Session 10:45 am-12 noon	Training Sessions 3:30 pm-5:30 pm	Lunch (Honoring Committees) 12:30 pm-3:00 pm
	Host/Hostess/Pages Briefing 11:15 am-12 noon	Training Sessions 11:00 am-12:30 pm	Judges' Briefing 11:30 am-12 noon	Evening Open	General Session 3:30 pm-5:00 pm
	RMT - II 1:00 pm-5:00 pm	Delegates' Briefing 11:00 am-12:30 pm	Speech Contest Luncheon 12:30 pm-1:45 pm		Reception/Cash Bar 6:30 pm-7:15 pm
	Training Sessions 1:00 pm-2:30 pm 3:00 pm-4:30 pm	OFFICIAL CALL TO ORDER/Meet the Candidates 1:30 pm-5:15 pm	Final Speech Contest 2:00 pm-3:30 pm		Installation Banquet 7:30 pm followed by officers' reception
	Elections Briefing Workshop 4:45 pm-5:45 pm	Speech Contest Committee Briefing 5:30 pm-6:15 pm	Training Sessions 4:00 pm-5:30 pm		
	Welcome Party 7:30 pm-10:30 pm	Speech Contest Judges' Briefing 6:15 pm-7:15 pm	Reception/Cash Bar 6:30 pm-7:15 pm		
		Preliminary/Taped Speech Contests 7:30 pm-9:30 pm	Banquet (Honoring Past Presidents) 7:30 pm-10:00 pm		

1994 CONVENTION-AT-A-GLANCE

リージョン朗読研修 —その後—

各地区朗読グループアンケートより

1985年盛田純子日本リージョン会長と役員会は、長期目標の一つに「1990年までに社会への還元を実現する」を掲げ、短期目標には、社会還元の実現化への第一歩として朗読研修特別委員会を設置しました。

ITC活動が社会とのつながりを持つ手がかりとして計画された朗読研修会は、名古屋、阪神、東京の各地区の会員が集いスタートしました。1987年には山陽地区、1989年には山陰地区にも広がり、計7つのグループが生まれました。各グループは、発声、発音、滑舌などのトレーニングを経て、朗読やテープ吹き込みのための研修を重ねましたが、1991年リージョン長期目標終了に伴い、研修は終わりました。それぞれの朗読研修グループは、その後どのような変遷を経たのでしょうか？各グループの足跡をアンケートを通して追ってみました。

東京地区……1986年～1991年まで今井千代子（青山クラブ）の指導のもと、約10名のメンバーが研修活動を行ってきました。その内の何人かは地域で奉仕活動を続けています。朗読研修を通して朗読への開眼という意味があり、クラブ、カウンスルでも朗読に関心が高まっています。

名古屋地区……1985年～1992年まで、外部講師池田和佳子先生ご指導のもと約21名が研修を行いました。東樹会病院への朗読奉仕は、5年間に79回、延べ159人が訪問しました。それ以後朗読同好会として現在も約15名が楽しみながら学び続けております。

阪神地区……<皐月会>1985年から1年間は臼村治子（神戸クラブ）の指導で、その後引き続き1992年までは、外部講師北山たか子先生ご指導のもと研修が行われていました。その中の何人かは、芦屋市立図書館にテープを届けました。毎年発表会も行っていましたが、1992年解散となりました。<ローズ会>1988年から、臼村治子（神戸クラブ）を講師として会員20名で現在も研修を続けています。社会還元を目的として目の不自由な方のためにテープ録音したものを贈っています。<てんとうむしの会>1990年から2年間カウンスルNo.6朗読研修会として、北山たか子先生ご指導のもと研修を行っていました。1993年から「てんとうむしの会」として再編成し、同講師のもとカウンスルNo.6のメンバー23名で研修を行っており、毎年3月にはグループ内でおさらい会を持っています。

山陽地区……1987年～1990年まで桑原美紀子（ひろしまクラブ）の指導のもと約15名が研修を行っていましたが、長期目標終了に伴い解散となりました。岡山のメンバーは、今でも個人的に養老院や病院などで朗読奉仕をしています。

山陰地区……1989年～1992年まで故宮川一二三（鳥取クラブ）と外部講師北山たか子先生のご指導のもと研修が行われました。現在は「山ぼうしの会」と名付けて、35名のメンバーが新宮雄子（米子マンデークラブ）と北山先生のご指導により続けられています。年1回発表会をもち、個人的に朗読を役立てて病院などで奉仕活動を行っているメンバーもいます。

このように、1985年に播かれた種はそれぞれの地区で根付いています。グループ全体で社会への奉仕活動をするのは難しいことですが、ひとりひとりがその意識をもち、それぞれの場で社会還元を果たすために朗読は大きく役立っております。

（各地区代表の皆様、アンケートにご協力くださりましてありがとうございました。東海、大野）

第2回カウンスル例会に参加して

カウンスルNo.1例会 文章を語り、味わい、書いて

名古屋クラブ 竹内宏子

作家の山下智恵子氏をゲストにお迎えして行われたカウンスルNo.1第2回例会のプログラムテーマは『文章』でした。文字のなかった時代には、自分の思いや考えを語ることで人に伝えてきました。そこでプログラムは、「語る」「味わう」「書く」の三つに分けて行われました。

「語る」は、羽衣伝説をとり上げ、近江、三保、丹後の三つの伝説を、3人の語り部が語りました。人々が話を語り伝えていくうちに、地域によってどのように話が変わっていったのかが、よくわかりました。豊かな言語で綴られた文章は、長く人の心に残ります。文章を「味わう」ために選ばれた本は、現代においてもなお私共の心をとらえている樋口一葉の「十三夜」、そして若い人達に大変人気のある作家、吉本ばななの「キッチン」でした。本の書かれた時代、内容、文体の全く異なった二つの文章を比較しながらフリートークをしました。ゲストにも参加していただき、5人の参加者と熱のこもった話し合いが展開しました。聴衆はその話し合いを通して、文章を十分「味わう」ことができました。「書く」は、「自画像」の題で全員が参加し、後で各テーブルごとに発表しました。自己紹介のスピーチを経験ずみの会員は、5分の限られた時間内に、それぞれが見事な「自画像」を描きました。

山下智恵子氏の『文章』へのメッセージは、プログラムの最後を締めくくるのにふさわしい言葉でした。

カウンスルNo.3例会 オーケストラのように

岡山あくらクラブ 花房八重子

ワークショップに魅せられて参加した。4部門どれも興味があり、即、実用的で魅力がある。せめて2部門に別れて、後で教え合うことで一度で二度楽しむカウンスルをと、岡山から3人参加した。大寒に入り冷え込みの厳しい神戸であるが、有意義な会の予感には充分にあった。

ビジネスの進行は、メロディーが流れるようにムリ、ムダがなく指名委員の選出方法は大変参考になった。その流れがそのまま序曲となり、各クラブ紹介のスキットへと続く頃には、笑い声のある会場にいつの間にか馴染んでいた。他のカウンスルへの参加は初めての私は、すべてが新鮮であり、和やかな雰囲気ですっかり溶け込んでいたのさえ気付かないほどのびやかであった。それは準備が充分にされているからこそであり、さりげない、その洗練された心くばりは爽やかであった。

ワークショップは「リーダーシップについて」に参加し、各会長が、体験にもとずいての発言に会長としての戸惑いも話され、本音の部分が伝わってきた。それらを内に、これだけの会を運営されているのには、敬意と感謝を深く感動した。自信に満ちた模範的な発言ばかりかと思っていた私は、大いに勇気づけられ共感した。ITCに関わる時間がもっとあったら、たら、たら、と、たらが増えている私は恥ずかしくなった。一貫した会の流れはオーケストラのようなものなのかも知れない。暖かくて感性豊かなカウンスルNo.3例会に大きな励みをいただいて帰った。

カウンスルNo.4 例会 スポットライトの語り部たち

北大阪クラブ 植 條 淑 子

広島は私のふるさと。懐かしい人達の顔、子供時代の山や川。でもカウンスルNo.4の会員の皆様には顔見知り全然なく少し不安でしたが、主人の旧知の高木彬子さん（ひろしまクラブ）や会員の方々に心からの歓迎をうけ、楽しいひと時をすごすことができました。

午後の部のプログラムⅠ《ストーリーテリング大会》は、プログラムリーダーの爽やかなご紹介で、各クラブの代表者が語り部となって日頃の成果を発表。ライトが暗くなり、静かに舞台上がった語り部に一筋のスポットがあたります。古来から伝承されてきた民話や伝説、物語や童話を衣装をこらした彼女たちは、方言をつかったり、歌やジェスチャーを交えて一人多役。

哀しい話には心から悲しみ、楽しい話には身をのりだして笑い、まるで自分が主人公になった気分。語り部たちの心豊かな話しぶりは役者顔まけ。何度も繰り返し練習されたのでしょう。会場は拍手の渦でわきあがりました。これこそ、ITCが求めている言葉によるコミュニケーションの分野ではないかと思えます。

プログラムⅡ《落語》では、雷門喜助さんのプロの話芸で例会テーマ「楽しく」を時のたつのも忘れて満喫。

新しく知り合った皆様との次の再会を楽しみに、母の待つ実家へと向かいました。

カウンスルNo.5 例会 プログラムはバランスのとれた3本立て

西宮クラブ 児 玉 照 江

1. 議事法クイズ 向こう3人両隣で教え合っても良いとのことでしたが、中々難しくて全問正解はなし。こういうのを度々やれば議事法のルールに強くなれるだろうと思った。

2. ワードパワー 会話を豊かに楽しくするため、より多くの正しい語彙を身に付けるための教育。大阪クラブが去年からなさっているもので、同クラブの木下さんが研究し作られた資料とのことである。「資料は各クラブにお分けするが、安易に資料を渡すのではなく、メンバーが興味をもって聞いて下さるように、プレゼンテーションの仕方も参考にして欲しい」と言われ、皆で楽しく学べるようにリードをして下さり感銘を受けた。私達がうっかり使っている間違っ言葉や誤字を見直して行くもので、最後は群読をして大いに盛り上がった。

3. 講演「良い人間関係を作る話し方」 講師は桑原美紀子リージョン第一副会長。実社会で活躍されている講師であり、ITC会員である桑原さんのお話は、豊富な経験の中の実例を通じてのお話なので、説得力があり、楽しく聞いている間に、聴き方、話し方、伝達、分析、洞察など人間関係に必要な沢山の事を勉強させて頂いた。「人を引きつけ魅力的にするには」の10箇条は忘れずに努力したいと思った。他に心に残ったのは、お話の中で桑原さんが素直にご自分を表現される言葉「私は明るくないんです。私は頑張っています。」等が私にはとても印象深かった。この度始めてカウンスルNo.5の例会に参加しましたが、充実したプログラムで大変楽しく勉強させて頂きました。

チャーター式典

福岡クラブ (カウンスルNo. 4 所属)

会 長 池 野 京 子
 テーマ 今、ときめいて
 日 時 1994年6月27日 (月) 12:00～16:00
 場 所 博多全日空ホテル 福岡市博多区博多駅前3-3-3
 TEL 092-471-7111
 会 費 ¥8,000
 申込締切日 1994年6月10日
 連絡先 書記 佐藤 昭代 〒811-12 福岡県筑紫郡那珂川町片縄851
 TEL 092-953-2119

お知らせ

☆ 徳島クラブ # 3597 カウンスルNo. 5 所属 30名 日本語

テーマ 倶 会 一 処
 例 会 第3火曜日 13:30～15:30 阿波観光ホテル
 会 長 五 藤 喜久子 〒770 徳島市助任本町1丁目3の1
 TEL 0886-54-0823 FAX 0886-53-5182

☆ ITC日本リージョン会員名簿 (1993～1994)

住所変更:

リージョン 教育促進委員長 新木 昌子 〒478 愛知県知多市巽が丘1丁目178

西宮クラブ カウンスル派遣員 下平 朝子 〒662 西宮市南越木岩町2-19

ヴィラ プルミエール303

米子マンデークラブ カウンスル派遣員 田中 暁子 〒683 米子市西福原1-1-16-401

役職者交代

リージョン スピーチコンテスト委員 佐藤 睦子 (岡山) → 佐山 昌子 (岡山)

イースト神戸クラブ 第二副会長 西村紀美子 → 戸塚 幸

奈良クラブ カウンスル派遣員 澤田 絹子 → 豊浦 雪子

サタデークラブ カウンスル派遣員 山田 悦子 → 岡本美帆子

青山クラブ 会計 日比 好江 → 井沢 雅子

柏クラブ 議会法規役員 白垣 栄子 → 中野 洋子

役職付記

西宮クラブ 議会法規役員 中來田慶子

サタデークラブ 議会法規役員 中西代志重

☆ 彩玉クラブ 例会場及び時間変更 熊谷福祉センター 13:30～15:30

☆ 訂正 リージョン会報 Vol.12 No.1 P.38 彩玉クラブ テーマ「彩をおる」→「彩を織る」

第12回 ITC日本リージョン年次大会ご案内

テーマ 「ひろがり」

開催日：1994年6月2日(木)、3日(金)

場所：ホテルオークラ神戸 TEL. 078 (333) 0111(代)

大会コーディネーター 川口 敬 恵



年に一度のリージョン大会が近づいてまいりました。皆様はいろいろな思いで楽しみにお待ちのことをございましょう。

ITCは参加することに意義があると思います。良いことも悪いことも、体験されたことをご自分で消化され、向上のための糧とされますようにと心から願っています。

今期は大会準備委員会のメンバーも、全員がプログラムに参加することを目標にしています。時間になりましたら、クローズさせていただきますのでご協力くださいませ。

インフォメーションのデスクに電話を設置して皆様の連絡にあたります。外部からの電話もここに繋がります。急を要するメッセージはホテルマンがプラカードで知らせてくださいます。

このカラーページには各委員会からのお知らせやお願いを掲載しましたのでお読みください。海も山も色鮮やかな6月に、神戸でお会いしましょう！

リージョン運営研修会・カウンスル運営研修会

日本リージョン次期会長 小林 令

リージョン大会の前日（6月1日）に、リージョン運営研修会（RMT）とカウンスル運営研修会（CMT）を、ITC公式訪問役員スザンヌ・シフレット国際会長をお迎えして実施致します。

研修対象はRMT・CMTそれぞれリージョンおよびカウンスルの下記の役員と常任委員会委員長です。

1994-95 年度選出役員（又は候補者）と任命役員

資格認証、会計監査、予算財務、会則決議、増設、広報、スピーチコンテストの各委員会の1994-95 年度委員長

日時、場所は大会プログラム一覧表に予定がでております。詳細は関係者に改めて通知し、前もって出欠を知らせていただきます。RMT・CMT共に8月1日から始まる新年度を前にしてリージョンとカウンスルを効果的に運営するために必要な研修の機会であり、又各担当分野でチームとして活動する上での情報交換の場でもありますので、関係する方々は是非ご出席くださいますようお願いしております。

第12回 日本リージョン大会プログラム

Japan Region 12th Annual Conference Program

ホテルオークラ神戸
Hotel Okura Kobe

6月1日(水) June 1 (Wed.)

10:45~11:00	リージョン運営研修会受付	Region Management Training Registration
11:00~12:00	リージョン運営研修会セッション1	Region Management Training (1)
11:45~12:15	カOUNSル運営研修会受付	Council Management Training Registration
13:00~16:00	カOUNSル運営研修会	Council Management Training

6月2日(木) June 2 (Thu.)

8:30~9:45	登録受付	Registration
9:00~9:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00	開会式	Opening Ceremony
10:45~	ビジネス ITCインフォメーション	Business ITC Information
12:00~13:00	昼食 選挙(派遣員のみ別室)	Luncheon Election (Delegates Only)
13:00~14:50	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
14:50~15:00	選挙結果発表	Election Report
15:10~16:50	教育セッション 外部講師と会員部門 [3]	Training Session Lectures [3] Guests & Members
17:20~17:40 17:40~18:30 18:30~20:45	晩餐会 受付 カOUNSル会長レポート 表彰 晩餐会 余興	Banquet Registration Council Presidents' Reports Awards Banquet Entertainment

6月3日(金) June 3 (Fri.)

8:30~8:55	登録受付	Registration
9:00~10:00	ビジネス	Business
10:10~10:50 11:00~12:20	教育セッション ITC国際会長へのQ&A 講演	Training Session ITC International President, Q&A Lecture (Guest)
12:20~13:20	昼食	Luncheon
13:30~15:20	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30~	役員交代式 報告	Installation Announcement
16:30	閉会	Adjournment

大会プログラムの時間に変更がある場合もあります。ご注意ください。Pay attention the time schedule.
※RMTセッション2は、6月3日(金)17:00~18:00に行います。

第一副会長 桑原 美紀子

☆ 2号の訂正とお願い

リージョン会報2号、大会プログラム予定表及び教育セッション一覧表の中で、時間の記入に間違いがありましたのでお詫びして訂正いたします。下線の通りお手許の2号誌を訂正してください。

P.16-6月2日(木)の登録受付 8:30~8:45は、8:30~9:45

P.18, P.19-6月2日(木)の教育セッション・Education Session 15:10~16:50

6月3日(金)の教育セッション・Education Session 10:10~12:20

☆ 6月2日(木)のパンケットの受付(17:20~17:40)は、例年にくらべて受付時間が短くなってあります。大変に混雑すると考えられますので、速やかに手続きをお願いいたします。

リージョン派遣員への注意事項

派遣員資格確認委員長 鵜飼 恵津子

第12回日本リージョン大会においては各クラブから選出されたリージョン派遣員のみが自分のクラブを代表して1票の投票権を行使できます。

どうぞこの記事をよく読み、間違いのないように準備して手続きをしてください。

1. 大会当日持ってくるもの

- ① 信任状の下半分(特に会費のところは、記入もれのないように注意してください。)
- ② 「日本リージョン会則・常規」とその「修正案・決議案」

2. 当日の手続き

- ① 大会初日 6月2日(木) 8:15~8:55までホテルオークラ神戸3F「有明の間」前で資格確認をして下さい。信任状の下半分を提出、確認して登録します。そして9:00から派遣員への説明が開始されます。時間ギリギリに駆けこまないようにご協力をお願いします。
- ② 大会二日 6月3日(金) 8:15~8:55まで1F「平安の間」前で出席を確認し登録してください。また代理人と交代するクラブは必ず申し出てください。

3. その他の注意

- ① 大会初日と大会二日目の資格確認登録の場所が変わります。
- ② 信任状の記入もれや定刻まぎわに人々が殺到することによって単純な作業も混乱するのではないかと恐れております。73名('94. 3. 1. 現在)が少し強めの雨だれのテンポでいらして下さることを希望します。

大会準備委員会より

From Region Conference Committee

登 録

委員長 野 田 絢 子

登録の申込みはすでにお済みのことと思います。

最終申込み提出日の5月16日迄は、各クラブの会計がそのクラブの追加、取消しに関する責任をもってくださるようお願いしましたので、よろしくご協力くださいませ。

5月16日、クラブから登録会計宛に送金された後の返金は致しませんのでご了承ください。送金後でも取り消しのあった場合は、クラブ会計を通して登録委員長迄お知らせ頂きますようお願い申し上げます。ゲストが晩餐会だけに出席の場合、登録費は不要です。

食 事

委員長 塩 崎 真 喜 子

昼食をお申し込みの方は

2日 (木) 和食弁当 平安の間 (1F)

3日 (金) 洋風ランチ 平安の間 (1F)

にて用意いたしております。

☆ 但し デリゲートの方は 2日(木)のみ 「有明の間」(3F)に用意致します。

お間違いのないようご注意ください。この時間に選挙も致します。

インフォメーション

委員長 村 上 美 耶 子

インフォメーションデスクは、1階主会場「平安の間」前に設けます。メッセージの受け付け、呼び出し、連絡、忘れ物、落とし物などのご用をうかがいます。なお、ビジネス、教育セッション、晩餐会、スピーチコンテスト等の時間帯はクローズ致します。ご協力ください。

名札、リボン

委員長 曾 山 綾 子

前年度に心をこめて作られた名札・リボンを係より引継ぎました。今年度にあわせて数、色彩など考えて美しい名札・リボンを整えたいと思います。

皆様がクラブ例会でご使用の名札とITCピンを各自ご持参ください。役職名のリボンは用意して当日キット袋に入れてお渡し致します。

晩餐会にもピン、名札、リボンを忘れずにおつけください。ご協力の程よろしくお願い致します。

儀 典

委員長 三 宮 晶 子

ビジネス スピーチコンテストでは、会合の進行に必要な役職、役割担当者、プログラム参加者のみ指定席といたします。メンバーはプレイスカードのある席以外に自由にお座りください。

晩餐会では、リージョン大会として礼をつくし、敬意を表すべき来賓、役職、プログラム参加者等を指定席といたします。指定席以外の会員は、晩餐会会場入口で座席札をお受け取りください。いろいろなクラブの方と交流して頂けるよう考えております。不行届の節はお許しくくださいませ。尚、座席指定の方には5月末日に座席表をお送り致します。

ホスピタリティー

委員長 岡崎 マリ子

大会期間中、ホスピタリティーは3F「飛鳥の間」と3F「桜の間」を用意致しました。

「飛鳥の間」は皆様の休憩室として、日本茶と冷たい水を常備していますので自由にご利用ください。セルフサービスをお願い致します。

「桜の間」は役員とホスピタリティー委員の控室です。又、ご気分のすぐれない方のために、部屋の奥にソファを並べておりますのでおいでください。簡単な事務用品、裁縫用具、アイロン、家庭薬などを用意しておりますのでご利用ください。但し、貴重品はお預かり出来ませんのでホテルにお預けください。

晩餐会の着替えには、3Fの「着替室」をご利用ください。「桜の間」はクローズすることがありますのでご協力いただきますようお願い申し上げます。

「飛鳥の間」と「桜の間」が皆様の輪のひろがりとなりますよう、野の花を入れお待ちしております。

写 真

委員長 江崎 由佳

今期のリーグン大会における写真は原則として記録に残す目的のため、必要な場面のみ撮影を行います。従って掲示はいたしませんので個々に自由にお撮りください。但し、行事の進行を妨げないよう、スピーチコンテスト中等は禁止されています。

個人的にプロに依頼されることはお断り致します。その理由は、時間的な問題や送付方法等で支障をきたす恐れがあるからです。

バンケットの各テーブル毎の写真は、当日申し込み用封筒を置きますので、クラブ名、氏名を書いて代金を入れ（検討中）お申し込みください。後日、各クラブ会長宛お送り致します。委員も大会に参加するという事で簡素化致しました。ご了承くださいますようお願い致します。

宿 泊

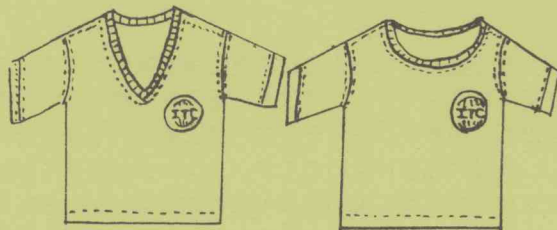
委員長 立花 眞琴

5月31日(火)の宿泊も、ITC特別料金になっております。

物品販売

委員長 種 継 眞 澄

本大会記念品として、美しい海の色をしたブルーのTシャツを準備しております。Vネックと丸首の二種類で左の胸のところには金色のITCのシンボルマークがプリントされております。大きさはミセス向きで少しゆったり目ですが、メンバーの皆様のセンスでドレシーにも、スポーティーにも又、インナーとしても充分おしゃれな素敵なものとして喜んでいただけると確信しております。それから、もう一つ宝塚クラブのメンバーでもいらっしゃる日本でたった一人といわれるギリシャ民族画家の橋本美穂さんの協賛によるぶどうの絵柄のオリジナルハンカチーフを作製・販売いたします。ぶどうは幸せを呼び幸せをつないでいくというとても縁起の良いものだそうです。神戸の香りを感じるお菓子と共にこれらの品物を大会出席記念としてぜひお求めください。



リージョンサロン

ITC次期会長ルビー・ムーン様からお礼状が届きました。

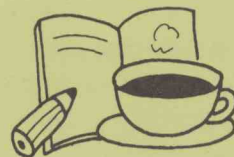
February 1994

Dear Fumiko

Thank you for sending me a copy of the Japan Region Newsletter.
My best wishes are extended to the members of the Japan Region.

Regards

Ruby Moon



いつもリージョン会報をお届けくださりましてありがとうございます。お送りいただいております会報は、私からカウンスルNo.2のシスターカウンスルであるアメリカのシェラネバダリージョンカウンスルNo.5の国際交流委員長 きえ子・ウェティカ様にお送りしております。

きえ子様はアメリカにお住いですが日本人で、毎年日本リージョン大会にも出席されており、皆様のお顔も大勢ご存知でいらっしゃいますので、毎回会報の到着を楽しみにしておられます。日本のITCの様子をさらによく知っていただき、今後ますます国際交流の輪が大きくなって行きますよう、私も願っております。

神戸クラブ 森下 千秋

きえ子・ウェティカ様の住所

KIEKO WHITAKER

P.O.Box 3279 Fairfield Ca. 94533 U.S.A.

TEL. 001-1-707-447-2662

ライトグリーンの使者、リージョン会報第2号郵送頂きありがとうございました。

会員からの提言を早速に企画にとり入れられて、第2号に具体的に実現されたところなど編集の皆様の思考の柔軟性にご努力に敬服致しました。各カウンスルのプログラム委員長の記事は、それぞれの活動状況が生き生きとした姿で綴られていて、これを読まれた会員はきっと、いつか他カウンスルも訪問してみたいと思われることでしょう。

梅田クラブ会長の提言も大変貴重な意見で歴代の編集の方々も常々考えて居られた事と存じます。でも必要な報告は削ることも出来ず、又予算上の紙面の都合もあり理想と現実の“はざま”での悩みお察し致します。とは申せ、理想には一歩でも近づきたいですね。

年末も年始も返上での編集室の皆様本当にご苦労様でございます。お体おいといの上、あと2号よろしく願い申し上げます。

次期会長 小林 令

もうすぐ春ですね、先日は早速会報を有難うございました。

さてミニレターで、すぐにもご返事をするつもりでしたが、この用紙を前にしますと不思議に筆が進みません。何故かしら？そしてハタと膝を打ちました。このマスマ目がいけないのです。原稿用紙を連想し、のびのび書けないのです。ミニレターはケイ線にすべきだったと気付きました。そうすれば字数を気にせず気楽に書いて頂けたのではないかしら。受け手と送り手の考え方、立場が変わって初めて解りました。良い勉強になりました。会報をいつも身近に置いて楽しんでおります。

前期編集者 関 稔子

編集後記

予算内でのやりくり上、3号はぐっとスリムな会報をお届けします。原稿を依頼する側と寄稿する側の体験による貴重なご意見をありがとうございました。たしかにマス目には書きにくいものですが、編集側に都合のよい慣例に従って、何の疑問も抱いておりませんでした。

コメ、コメ、コメ……と、春の嵐が日本中に吹き荒れています。昨年の不作から始まったコメ騒動。買いダメ、コメ不足、はてはコメ泥棒まで。50年前の食料難時代とは違って、飽食の時代の異常なまでのこの騒ぎ。日本人の本性が世界の人々に知れ渡ってしまったようで情ない限りです。

お寄せいただく原稿を拝見していますと、リージョン大会が間近に迫って来ているのがひしひしと感じられます。と同時に任期もわずかとなりました。皆様からのエールを受けてあと1号、がんばります。リージョン大会でのお目もじを楽しみにしております。

リージョン会報編集室 東海 和子（都）
大野三恵子（京都）
岡野 淑子（〃）
高木 清子（〃）
北丸 幸子（都）

発行：1994年4月
発行者：ITC日本リージョン
印刷所：橋本印刷

